

パルシステムの  
放射能検査

2回連載(前編)

見えない不安を取り除くために  
ていねいな手作業が検査の基本。

パルシステムは2011年の原発事故後、放射能検査室をつくり食品や飲料の検査体制を強化。あわせて検査結果を公表しています。今回から2回にわたり、実際の検査の流れや使用している機器、パルシステムの基準などについて紹介します。

## このような流れで検査を行っています

## 1 検査する食品の受け入れ



検査に使う食品は産直産地やメーカーから送られてきます。配送業者が搬入できる扉があり、検出器がある部屋とは仕切られています。

## 2 可食部分だけに分ける



みかんの場合は外皮をむいて、フードプロセッサにかけます。2リットルの分析容器に詰めるため約30個分のみかんが必要でした。

## 3 専用の容器に詰める



細断したみかんを専用の容器に移し、すき間なく充てんしたら、正確に重さをはかります。

## 4 容器を検出器に設置



これがゲルマニウム半導体検出器です。

検査する食品を容器に充てんしたらゲルマニウム半導体検出器で分析にかけます。パルシステムでは同検出器を2台使っています。

パルシステムの放射能検査は東京都稲城市の商品検査センターで行っています。取材に訪れた日は、早生みかん、りんご、とび魚、本みりん、くるみまんじゅうなどに加えて、ふぐちりセット、毛がになど冬のギフト商品も検査用に届きました。平均して毎週約45件を検査しています。

検査する食品は国が定めた方法に従い、可食部分だけを細かくする作業が必要です。魚の場合は骨やうろこを除き、包丁でミンチ状にしています。さくらんぼはすべて種をとり、落花生は殻を割って実の部分だけにしなければなりません。測定にはゲルマニウム半導体検出器という機器を2台使っています。

商品検査センターの工藤由起職員は、「より精度の高い結果が出るように、分析容器に食品を入れるときは、なるべくすき間がなく均一な状態で入れるようにしています」と話します。ていねいに手作業を積み重ね、国より厳しい自主基準(右下の表をご覧ください)での検査を行っています。

(12月4回の後編ではゲルマニウム半導体検出器などについて紹介します)

## 検査前に必要な処理の例

## 水産物は骨などを除いて分析



写真のとび魚は解凍して、ひれ、骨、うろこを除去。毛がにの場合は殻を除くなど可食部だけにします。



骨などを除いたあと、身の部分だけを細かくきざみ、ミンチ状にして容器に詰めます。

## 青果は決められた方法で



玉ねぎは可食部分ではない外皮および根を除去することになっています。



じゃがいもや里芋などの場合は、泥を軽く水で洗い落とすことになっています。

## 国より厳しいパルシステムの自主基準(独自ガイドライン)

自主基準(独自ガイドライン) (セシウム134、137の合計) 2014年10月より現行基準(単位Bq/kg)		国の規格基準	
水、飲料茶、牛乳、乳幼児用食品	10	水、飲用茶	10
飲料、乳製品、米		乳幼児用食品、牛乳	50
青果類、肉類、卵、魚介類、その他食品、きのこ類(しいたけ除く)	25	一般食品	100
しいたけ	100		

※パルシステムの乳幼児用食品は「yumyum」掲載商品とインターネットの「赤ちゃん・キッズOK食材」掲載商品。  
※水に戻して食べる乾燥食品は摂食状態で検査します。

## Q 放射能検査状況について

2021年度の検査数(カッコ内は検出件数)/2021年10月7日現在  
※最新の検査状況は下記左側の二次元コードよりご覧いただけます。

総計: 1235(14) 不検出率: 98.8%

2020年度の検査数 総数2138(31) 不検出率98.6%

青果	273(0)	2020年度、れんこん(3.5~7.8Bq/kg)から放射能が自主基準内で検出されました。
しいたけ	20(14)	2021年度は生しいたけ(5.5~20Bq/kg)、岩手県産乾しいたけ・小粒どんこ(21Bq/kg)、冷凍食品の産直原木しいたけ(3.1Bq/kg)から放射能が自主基準内で検出されました。
他のきのこ類	26(0)	2020年度に続き、10月7日現在で放射能の検出はありません。
米・米飯類	16(0)	2021年産の玄米は15産地15検体を検査し、不検出でした。今後も順次、検査を行っていきます。

牛乳、肉、卵	32(0)	産地ごとに定期的に検査しています。2020年度に続き、10月7日現在で放射能の検出はありません。
魚介類	64(0)	2020年度に続き、10月7日現在で放射能の検出はありません。
飲料水・飲料	38(0)	2020年度に続き、10月7日現在で放射能の検出はありません。
乳幼児用食品	119(0)	2020年度に続き、10月7日現在で放射能の検出はありません。
その他加工食品	647(0)	2020年度、ほしいも(3.0Bq/kg)から放射能が自主基準内で検出されました。

※乳幼児用食品のみ検出下限値1Bq/kg、その他は検出下限値3Bq/kg。



- 週次の「放射能関係のお知らせ」はインターネットに掲載しています。
- インターネットから見られない方はこちらにお問い合わせをお願いします。

パルシステム東京・パルシステム神奈川・パルシステム千葉・パルシステム埼玉・  
パルシステム茨城 栃木・パルシステム福島・パルシステム静岡・パルシステム新潟ときめき  
パルシステム  
問合せセンター  
0120-868-014  
月~金曜日:9時~20時  
土曜日:9時~17時  
※通話料は無料です。 ※お問い合わせ内容の確認とサービス向上のために、通話の内容を録音しております。

パルシステム山梨  
甲斐センター ■0120-28-5891  
西桂センター ■0120-32-1061  
一宮センター ■0120-21-9898  
パルシステム群馬  
高崎センター ■0120-60-5118  
渋川センター ■0120-36-3315  
東毛センター ■0120-63-3735  
※センターによって、携帯電話からはご利用できない場合があります。